



大いちょう

平成28年 9月 30日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成28年度 No.6

048 (829) 2737

これぞ高砂のこどもたち

校長 石山 大介

♪ 一 秋風清く空澄みて 燃ゆる心の高鳴りは 血潮の渦と滾り立つ

我が高砂の 意気高し

♪ 二 古い銀杏の枝茂く 梢とともに育ちゆく 鉄の体は火と燃えて

我が高砂の 意気高し

昔から歌い継がれている高砂小応援歌。歌っていると、体中の血が滾（たぎ）り、力が湧いてくるのが不思議です。ついつい、拳を握って腕を振り下ろしてしまいます。本校の応援歌のもつ力です。良き伝統として受け継がれています。

校庭、体育館、教室から聞こえてくるその応援歌の声も、気持ちもどんとクレッシェンドしてきました。いよいよ運動会本番です。

2学期の開始から一ヶ月。普段は一緒に生活している学級が紅白二つの組に分かれて練習に取り組んできました。それぞれの組は、自分たちの好き嫌いで作ったわけではありません。運動会のためだけに作られたその時だけのチームで競い合います。運動会が終われば、その紅白の組は解散してしまいますが、その組の勝利のために、同じ紅組、同じ白組のために力を合わせるのです。一日で終わる運動会、その日のために、です。

私たちは、見ず知らずのたくさんの人と出会って、その人たちといろいろな集団をつくって生きていきます。だれと出会うか、一緒になるかはわかりません。出会った人と協力してよりよいものにするために努力します。

騎馬戦の馬の4人なら、馬が倒されないように自分の役割を果たします。表現運動の技も、まずはその数人で技が綺麗に決まるように、支える役、乗せる役を果たす。結果はともかくも、そうやって自分のことから離れて、他人のために頑張る、頑張れることはとても素晴らしいことです。

そんな姿が学校中に溢れています。これぞ高砂の子どもたちです。

種目によっては得意、不得意もあるでしょう。お互いにそれを認め合って、補い合う。他人の失敗を追及するのではなく、その失敗を皆でどうカバーしていくかが大切です。そして、最後まで諦めてはいけません。

「もうだめだ」ではなく、「まだまだ」と。

精一杯、最後まで、力を抜かず、力を合わせて

スローガン「仲間と協力 全力勝負で輝け高砂っ子!!」の実現に向けて頑張れ!

♪ 三 空もどよめく歓声に 紅白ともに技競う 強く鍛えん時ぞ今

我が高砂の 意気高し

我が高砂の未来（そら）広し